

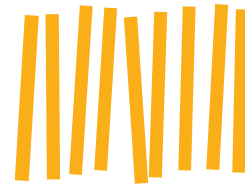
Mobile Triennale

モバイル・トリエンナーレ

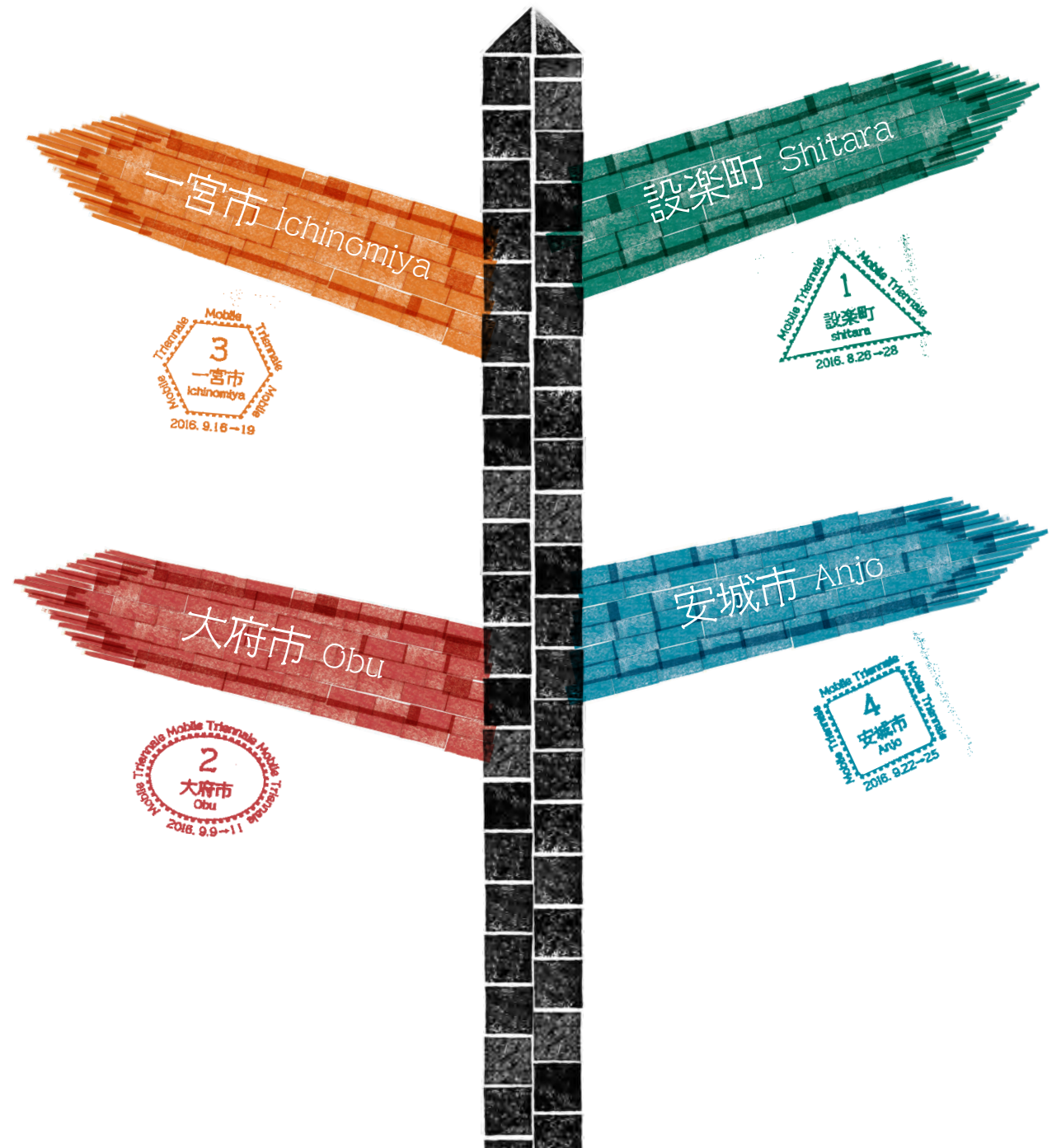
旅する展覧会

現代アートがまちにやってくる!

モバイル・トリエンナーレ



虹の
キャラヴァンサライ
あいち
トリエンナーレ
2016



Mobile Triennale
3
一宮市
Ichinomiya
2016. 9.18-19

Mobile Triennale
1
設楽町
shitara
2016. 8.26-28

Mobile Triennale
2
大府市
Obu
2016. 9.9-11

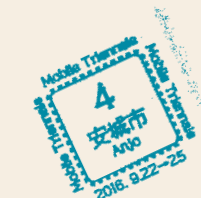
Mobile Triennale
4
安城市
Anjo
2016. 9.22-25

2016

あいちトリエンナーレ2016
モバイル・トリエンナーレ
旅する展覧会

味岡伸太郎 AJIOKA Shintaro
ニコラス・ガラニン Nicholas GALANIN
キオ・グリフィス Kio GRIFFITH
タロイ・ハヴィニ Taloi HAVINI
今村 文 IMAMURA Fumi
ジョアン・モデ João MODÉ
森北 伸 MORIKITA Shin
オスカー・ムリーリョ Oscar MURILLO
中村裕太 NAKAMURA Yuta
ウドム・チャン・グエン Uudam Tran NGUYEN
二藤建人 NITO Kento
岡部昌生 OKABE Masao
大巻伸嗣 OHMAKI Shinji
佐々木愛 SASAKI Ai
柴田真理子 SHIBATA Mariko
田島秀彦 TAJIMA Hidehiko
高橋士郎 TAKAHASHI Shiro
竹川宣彰 TAKEKAWA Nobuaki
山田 亘 YAMADA Ko
ボリス・ラベ Boris LABBÉ
伊藤高志 ITO Takashi
小川 育 OGAWA Iku
高嶺 剛 TAKAMINE Go
山村浩二 YAMAMURA Koji

設楽町、大府市、一宮市、安城市



「あいちトリエンナーレ2016」

会期：2016年8月11日～10月23日(74日間)

テーマ：「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅 Homo Faber: A Rainbow Caravan」

「モバイル・トリエンナーレ 旅する展覧会」

会期：計14日間

- 設楽町／設楽町田口特産物振興センター
2016年8月26日(金) - 28日(日)3日間／419人
- 大府市／大府市勤労文化会館
2016年9月9日(金) - 11日(日)3日間／656人
- 一宮市／一宮市博物館
2016年9月16日(金) - 19日(月・祝)4日間／1,451人
- 安城市／安城市民ギャラリー
2016年9月22日(木・祝) - 25日(日)4日間／1,523人



主催：

あいちトリエンナーレ実行委員会

一宮市、一宮市教育委員会(一宮市会場)／安城市、安城市教育委員会(安城市会場)／

大府市(大府市会場)／設楽町、設楽町教育委員会(設楽町会場)

参加アーティスト数：24人

味岡伸太郎、ニコラス・ガラニン、キオ・グリフィス、タロイ・ハヴィニ、今村 文、ジョアン・モデ、森北 伸、オスカー・ムリーヨ、中村裕太、ウダム・チャン・グエン、二藤建人、岡部昌生、大巻伸嗣、佐々木 愛、柴田真理子、田島秀彦、高橋士郎、竹川宣彰、山田 亘、ボリス・ラベ、伊藤高志、小川 育、高嶺 剛、山村浩二

作品点数：44点

合計入場者数：4,049人(ワークショップ参加者を含む)

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2

愛知芸術文化センター 6階

あいちトリエンナーレはあいちで開催される三年ごとに開催される国際芸術祭です。この国際芸術祭は、国内外から先端的で新しい現代美術をあいちにまとめて展示することで、文化都市としてのあいちの名を国際的に発信すること、そのことで地域の魅力を向上させること、さらには、現代美術が持つ新しい考え方や見方に触れてそれを身近なものとする、を掲げています。2010年8月に名古屋市で始まり、2013年には岡崎市が会場に加わりました。今回の2016年には豊橋市もその会場の一つとなっています。

「モバイル・トリエンナーレ」は2013年から始まっています。会期中の週末に、会場以外に出張して行う小規模な展覧会のこと、「あいちトリエンナーレ」という名前が示すとおり、「あいち」県全体に活動を広げて、多くの人と現代美術の面白さを共有したいという思いから生まれました。作品の展示に加え、出品作家等によるワークショップも実施し、3日または4日間という短い会期ながら、多角的に現代美術の魅力を紹介しています。それぞれの地域にある、固有の歴史と文化に根ざした身近な建物や文化施設で、普段は、遠いところに、そして関係ないところにある、と思われている現代美術に触れていただける機会となりました。

今回の「旅する展覧会-モバイル・トリエンナーレ」は、設楽町、大府市、一宮市、安城市の文化施設などで開催されました。あいちトリエンナーレ2016の参加アーティストのうち、19名の現代美術アーティストと5名の映像アーティストによる、本展出品作品とは異なる、絵画や彫刻、映像などの約40点の作品で構成しました。

来場者数は4つの会場で合計4,049人となり、展示内容も多くの方に好評をいただくことができました。アンケートでは、「多彩な作品が身近に観れた」、「日常から離れた別の世界へ行ったような思いでした」、「ここでしか見れない作品もあって、とても楽しめた」、「参加型でよかった」、などの回答をいただきました。展示作品を解説するガイドツアーや出展アーティストによるワークショップを実施したことで、作品への理解を深めたり、アーティストとの体験を通してより現代アートを身近に感じていただくことができました。また、今回は名古屋や豊橋で同時開催していた本展と併せて来場する方もおり、作品の中の共通点を見つけたり、異なる表現方法をみることでアーティストへの印象の変化を楽しんでいただくこともできたようです。

最後になりましたが、ご出品にご賛同いただいたアーティスト、そしてさまざまな形でご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。

あいちトリエンナーレ実行委員会

設楽町 Shitara

設楽町田口特産物振興センター

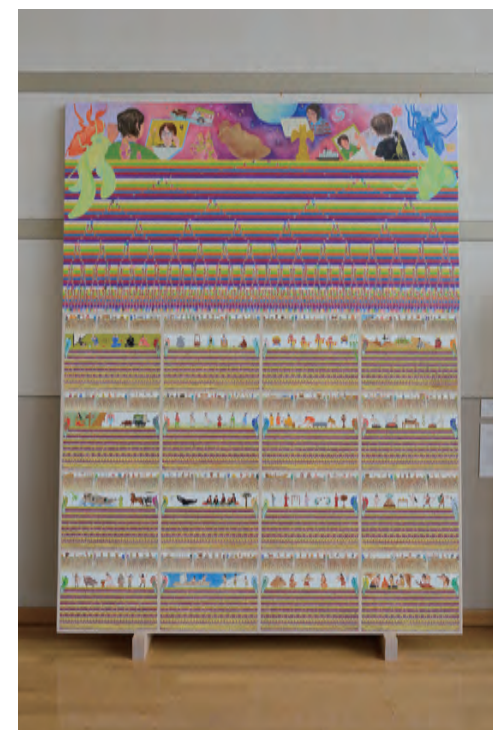
愛知県の北東部に位置する人口約5,200人の町の中心地に建つ施設。
設楽町の林業、農業の振興と地域活性化のため、特産物の展示・販売や講演会等が開催されています。

会期：2016年8月26日(金) - 28日(日) 9:00 - 17:00 (26日は21:00まで)

会場：設楽町田口特産物振興センター(北設楽郡設楽町田口字向木屋3-1)



上：設楽町田口特産物センター外観 下：高橋士郎(babot m273)



上：センター内2階 展示風景 下左：竹川宣彰<セミの羽化と私-3250年 #3> 下右：柴田眞理子 展示風景

設楽町 Shitara

作品ガイドツアー

8月27日(土)、28日(日)
11:00 / 15:00(約30分)

ワークショップ

LOCUS FABER ツクロッカ

「移動型バスミュージアム MOBIUM:バスを万華鏡にする」

バスの内部を巨大な万華鏡にするワークショップを実施。
揺れると動くミラーのついた飾り(モビール)を作ってバスに取り付けました。
モビールを飾ったバスに乗ってまちを一周しました。

日時:8月28日(日)①10:00-12:00 ②14:00-16:00

会場:設楽町田口特産物振興センター

対象:どなたでも(要事前申込み)

参加者:36名

バスの走行時間 / 11:30-12:00、15:30-16:00

(ワークショップに参加していない方も乗車可能)

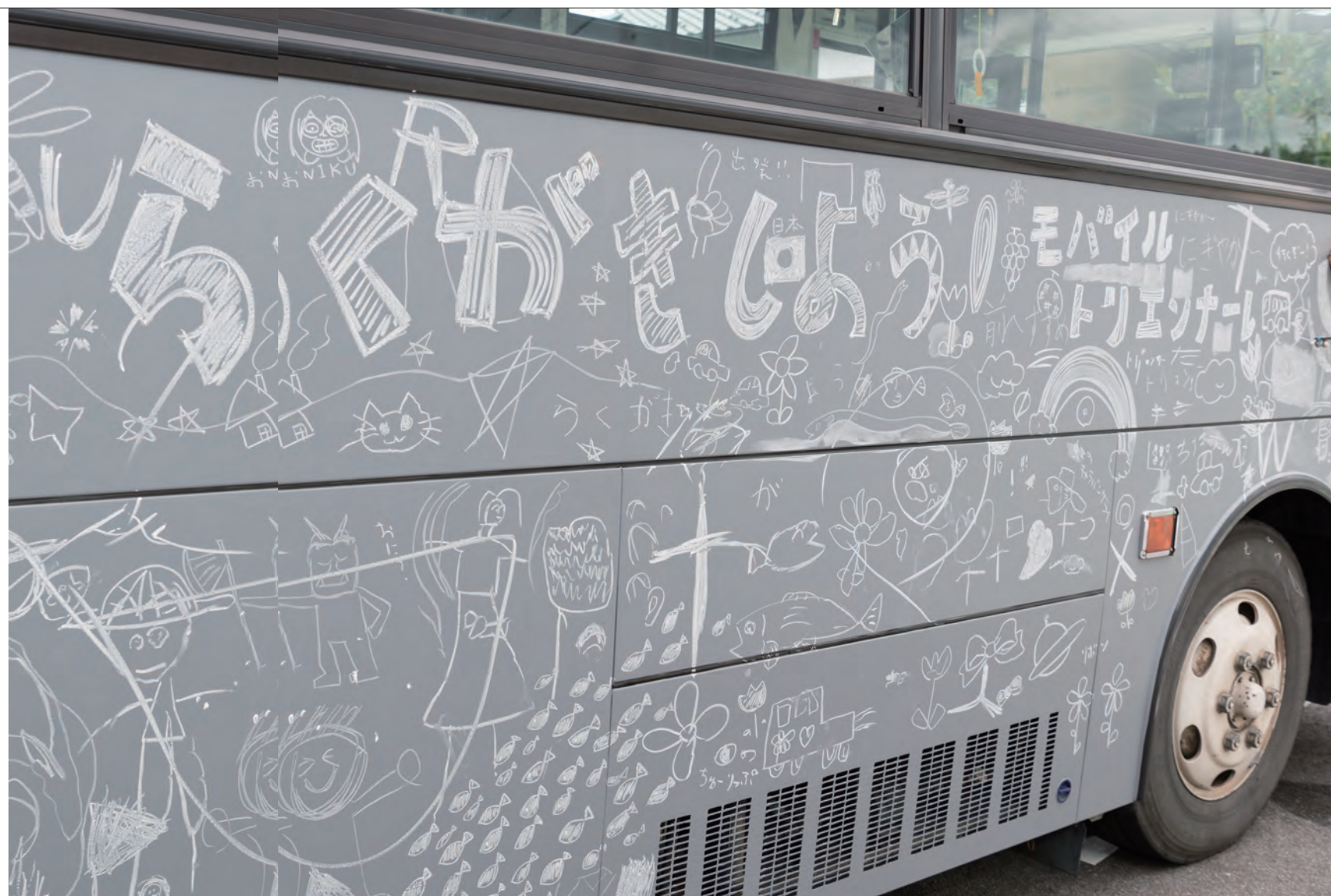
「らくがきバス」

黒板になっているバスの外装にチョークを使って自由にくがきをしてあそびました。
車体には自動で絵を描く装置も取り付けられました。

日時:8月28日(日)9:00-17:00(走行時間11:30-12:00、15:30-16:00以外)

会場:設楽町田口特産物振興センター 駐車場

対象:どなたでも



設楽町 Shitara



上:森北 伸 展示風景 下左:二藤建人(ZOKINMAN) 下右:大巻伸嗣 展示風景

上:ジョアン・モデ(ネットプロジェクト) 下:キョー・グリフィス《Any Colour You Like 1.2》

大府市 Obu

大府市勤労文化会館

知多半島の北端に位置する人口約9万人の都市の文化芸術を担う施設。
市の芸術祭や音楽祭などの舞台公演や、成人式が行われるホールと会議室や研修室、
宿泊施設を備え、多くの市民や企業に利用されています。

会期：2016年9月9日(金) - 11日(日) 9:00 - 19:00

会場：大府市勤労文化会館(大府市明成町1-330)



上：作品ガイドツアー風景 下：港芸術監督からのあいさつ



上：今村 文 展示風景 中：味岡伸太郎 展示風景 下：タロイ・ハヴィニ(カブカブI、II、III、IV：メラネシアの神秘的な島々より)

作品ガイドツアー

9月10日(土)、11日(日)
11:00 / 15:00(約30分)

ワークショップ

田島秀彦

「カットアップ&リミックス～イメージを並列したり重層して作るコラージュ絵画～」

世界各国の装飾模様(タイルやテキスタイルなど)の印刷物を切り貼りし、トレーシングペーパーや透明カラーフィルムなどと組み合わせながらキャンバスボードにコラージュ作品を制作。イメージとイメージを作用反作用させながら独自の世界観を構築することを試みました。

日時:9月11日(日)14:00-16:00
会場:大府市勤労文化会館 控室4・5
対象:どなたでも(要事前申込み、未就学児は保護者同伴)
参加者数:15人



田島秀彦 ワークショップ風景



イベント

三田村光土里 企画

「Art & Breakfast Day International あいちトリエンナーレ 大府」

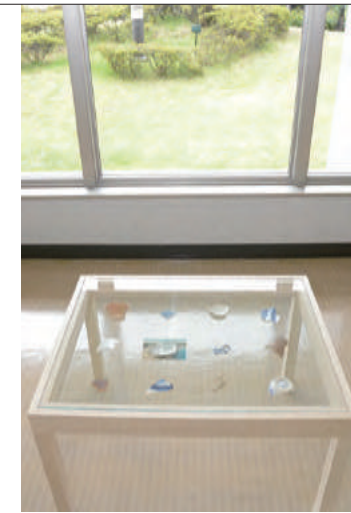
普段は家族や親しい人と過ごす朝食の場を、アートとともに楽しむイベント「Art & Breakfast Day」。その場に集まる人と朝食をとり、様々な人とコミュニケーションを楽しむイベント。9月10日と11日は国内外で「Art & Breakfast Day International」が開催され、三田村光土里は滞在中のドイツの会場で実施。世界を感じながら食事をしました。

日時:9月11日(日)8:30-10:30
会場:大府市勤労文化会館 1階 四季ダイニング葉の葉
対象:どなたでも(要事前申込み)
参加費:450円(食事代)
参加者数:22名



三田村光土里「Art & Breakfast Day International」

大府市 Obu



上:映像プログラム展示風景 中:ジョアン・モデ(ネットプロジェクト) 下:オスカー・ムリーリョ(フリークエンス・プロジェクト)

上:中村裕太(世界陶片地図|シドニー) 中:ジョアン・モデ(ネットプロジェクト) 下:岡部昌生(Creative Caravan)

一宮市 Ichinomiya

一宮市博物館

愛知県の北西に位置する人口約38万人の都市の郷土の歴史や文化遺産を伝える博物館。
長嶋山妙興報恩禅寺の境内に隣接した、内井昭蔵による特徴的な建築で知られています。

会期：2016年9月16日(金) - 19日(月・祝) 9:30 - 17:00 (入場は16:30まで)

会場：一宮市博物館(一宮市大和町妙興寺2390)



上：山田 亘(大愛知なるへそ新聞プロジェクト) 下：一宮市博物館外観



ジョアン・モテ(ネットプロジェクト)

作品ガイドツアー

9月17日(土)、19日(月・祝)
11:00、15:00(約30分)

ワークショップ

LOCUS FABER ツクロッカ

「移動型バスミュージアム MOBIUM: バスを万華鏡にする」

バスの内部を巨大な万華鏡にするワークショップを実施。
揺れると動くミラーのついた飾り(モビール)を作ってバスに取り付けました。
モビールを飾ったバスに乗ってまちを一周しました。

日時: 9月18日(日) ①10:00-12:00 ②14:00-16:00

会場: 一宮市博物館

対象: どなたでも(要事前申込み)

参加者: 38名

バスの走行時間 / 11:30-12:00、15:30-16:00

(ワークショップに参加していない方も乗車可能)

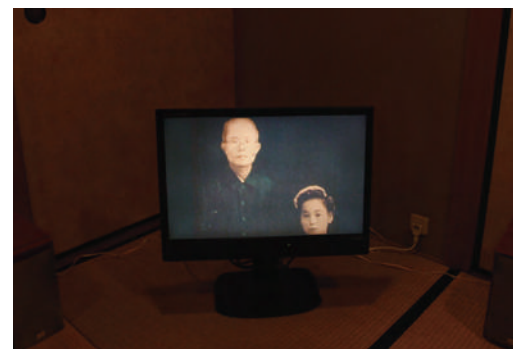
「らくがきバス」

黒板になっているバスの外装にチョークを使って自由にくがきをしてあそびました。
車体には自動で絵を描く装置も取り付けられました。

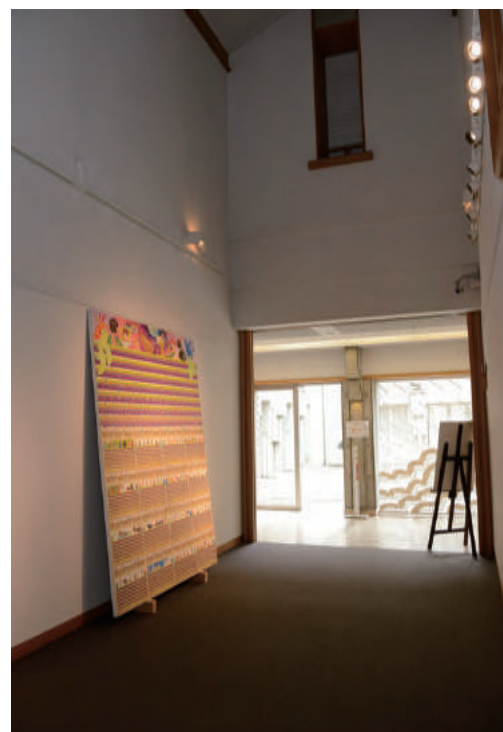
日時: 9月18日(日) 9:30-17:00(走行時間11:30-12:00、15:30-16:00以外)

会場: 一宮市博物館 南側入口横

対象: どなたでも



一宮市 Ichinomiya



上:山田 亘《大愛知るへそ新聞プロジェクト》 下左:竹川宣彰 展示風景 下右:高橋士郎 展示風景

上:柴田眞理子 展示風景 下:中村裕太《世界陶片地図|シドニー》

安城市 Anjo

安城市民ギャラリー

愛知県の中央部西に位置する人口約18万都市の展示施設で、安城松平4代の居城を整備した城址公園に面した建物。埋文センターを併設し、歴史博物館・安祥公民館が隣接する文化ゾーンに位置しています。

会期：2016年9月22日(木・祝) - 25日(日) 9:00 - 17:00

会場：安城市民ギャラリー(安城市安城町城堀30)



上：オープニングコンサート風景 下：作品ガイドツアー風景



上：佐々木 愛 展示風景 下左：森北 伸 展示風景 下右：二藤建人 展示風景

安城市 Anjo

作品ガイドツアー

9月22日(木・祝)、25日(日)
11:00、15:00(約30分)

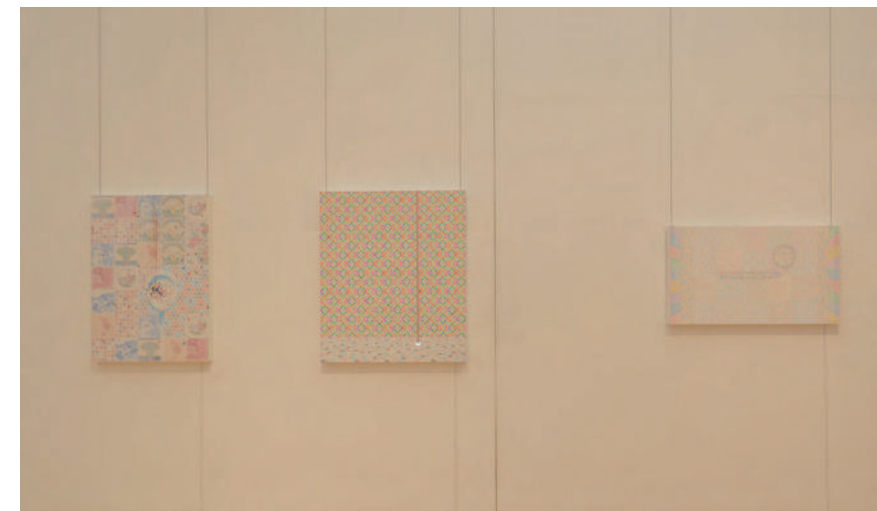
ワークショップ

今村文

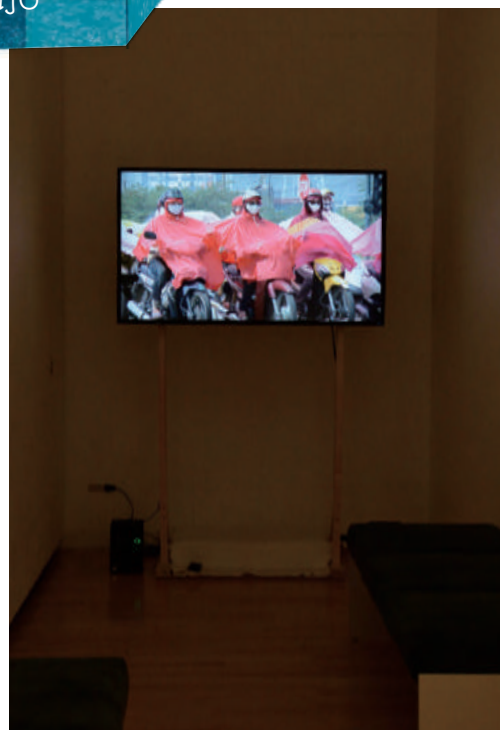
「ミツロウ絵の具で絵を描いてみる」

ミツバチの巣に使われているロウに色をつけて作るミツロウ絵の具を、
熱で溶かしながら板の上に描くワークショップ。
古くから使われているこのエンカウスティーク(蠟画)の技法で
制作を続ける作家と一緒に、ミツロウ絵の具で絵を描きました。

日時:9月24日(土)①9:30-12:30 ②14:00-17:00
会場:安城市民ギャラリー 創作実習室
対象:高校生以上(要事前申込み)
参加者数:14人



安城市 Anjo



上:ウダム・チャン・グエン《機械騎兵隊のワルツ - The Machine Equestrians #12》 下:山田 亘 展示風景

展示室風景

出品作品リスト

アーティスト名
作品番号
《作品タイトル》制作年／素材・技法

味岡伸太郎

M-01《設楽からの地質調査報告書 16》2016／水彩紙、土
M-02《一宮からの地質調査報告書16》2016／水彩紙、土
M-03《大府からの地質調査報告書 16》2016／水彩紙、土
M-04《安城・藤井からの地質調査報告書 16》2016／水彩紙、土

ニコラス・ガラニン

M-05《Tsu Héidei Shugaxtutaan I, II (しまわれていた英知の箱を、再び開けよう)》2006／ビデオ／
4分37秒／4分06秒

キオ・グリフィス

M-06《Any Colour You Like 1,2》2016／木、フェルト

タロイ・ハヴィニ

M-07《カブカブ I,II,III,IV:メラネシアの神秘的な島々より》2015／磁器、珪器、銅ラスタール彩、金彩

今村 文

M-08《無題》2008／エンカウスティーク、漆喰、パネル
M-09《無題》2016／エンカウスティーク、漆喰、パネル
M-10《無題》2016／エンカウスティーク、漆喰、パネル
M-11《無題》2016／エンカウスティーク、漆喰、パネル
M-12《無題》2016／エンカウスティーク、漆喰、パネル
M-13《無題》2016／水彩、コラージュ

ジョアン・モデ

M-14《ネットプロジェクト》2003-／ミクストメディア／インスタレーション

森北 伸

M-15《The Voyager》2014／陶、アルミ、アクリル
M-16《mother》2014年／アクリル、綿布

オスカー・ムリーリョ

M-17《フリークエンシース・プロジェクト》2014-2016／ミクストメディア

中村裕太

M-18《世界陶片地図|シドニー》2016／陶片、絵葉書

ウダム・チャン・グエン

M-19《機械騎兵隊のワルツ - The Machine Equestrians #12》2012／
シングルチャンネル・カラービデオ／4分34秒

二藤建人

M-20《ZOKINMAN》2016／雑巾、ビデオ／15分03秒

大巻伸嗣

M-21《Echoes-Infinity》2013／キャンバス、顔料、アルミニウムプレート
M-22《Echoes-Infinity》2013／キャンバス、顔料、アルミニウムプレート
M-23《Echoes-Infinity》2013／キャンバス、顔料、アルミニウムプレート

岡部昌生

M-24《Creative Caravan》2015-2016／エアログラム

佐々木愛

M-25《塩の道》2016／油彩、キャンバス
M-26《海と空》2016／油彩、キャンバス
M-27《石器》2016／油彩、キャンバス
M-28《古代のルート》2016／油彩、キャンバス
M-29《森を運ぶ》2016／油彩、キャンバス

柴田真理子

M-30《華の静物005-5》2005／陶
M-31《華の静物007-4》2007／陶
M-32《華の静物009-1》2009／陶
M-33《華の静物009-3》2009／陶

田島秀彦

M-34《splash(16-01)》2016 / MDFパネル、アクリル、光ファイバー、モーター、LED電球

M-35《splash(09-01)》2009 / MDFパネル、アクリル、光ファイバー、モーター、蛍光灯

M-36《浴槽とバスタブと日蝕》2012 / MDFパネル、アクリル、光ファイバー、モーター、蛍光灯

高橋士郎

M-37《babot m273》2016 / 空気膜造形

竹川宣彰

M-38《セミの羽化と私-3250年 #3》2008 / 油彩、キャンバス

山田 亘

M-39《大愛知なるへそ新聞プロジェクト》2016 / 新聞(更紙、油性インク)

高嶺 剛

M-40《サシグラー》1973 / ヴィデオ / 15分

伊藤高志

M-41《悪魔の回路図》1988 / ヴィデオ / 7分

山村浩二

M-42《頭山》2002 / ヴィデオ / 10分

ボリス・ラベ

M-43《Kyrielle》2011 / ヴィデオ / 10分

小川 育

M-44《I Wanna Be Your Friend》2015 / ヴィデオ / 4分

来場者アンケート

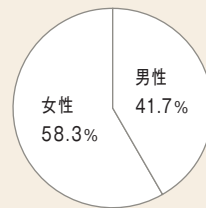
来場者4049名の内、アンケートには541名の方々にご協力いただきました。展示会の内容に関しては、良かった60.2%、まあ良かった31.4%、併せて91.6%の回答が得られました(前回は87.4%)。その理由は、「近所でアート作品をみることができた」「いろいろなジャンルの芸術に触れることができた」「トリエンナーレの本展と関連した作品があり、本展に興味を持たせる内容だった」「子どもも楽しめた」「多いに刺激を受けた」「アートの作品をこの町でなかなか見る機会がないので、見れて、体験できてよかった」などといったものがよせられました。中でも「作品ガイドツアーがよかった」といった類の回答が複数あり、展示されている作品についてスタッフが直接説明し鑑賞を共にすることで来場者にとってより充実した鑑賞体験となったことが伺えます。また、自由回答では「名古屋屋に出て行かなくても、身近で見れることができてよかったと思う。次回も開催してほしい」「家の近くにトリエンナーレがきてうれしかった」「遠くまでみに行けない人が行きやすくなっていいと思う」「このような巡回展示はこれからも続けてくれたらうれしいです」などの回答がありました。色んな地域での展開によって、様々な人へアートを身近に届けることができました。

回答者数 / 541人

回答者の属性

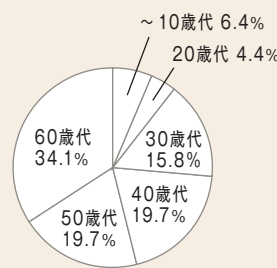
○性別

男性	217人	41.7%
女性	303人	58.3%
計	520人	100.0%



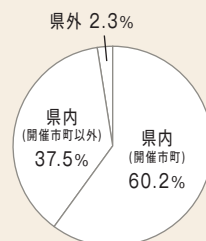
○年代

～10歳代	33人	6.4%
20歳代	23人	4.4%
30歳代	82人	15.8%
40歳代	102人	19.7%
50歳代	102人	19.7%
60歳代	177人	34.1%
計	519人	100.0%



○住まい

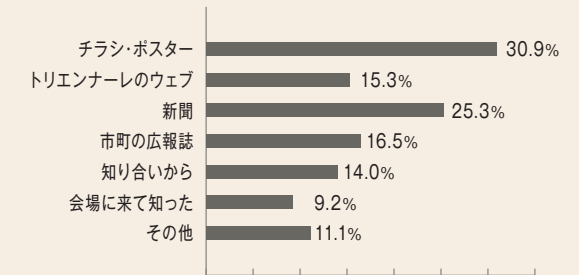
県内(開催市町)	310人	60.2%
県内(開催市町以外)	193人	37.5%
県外	12人	2.3%
計	515人	100.0%



来場理由

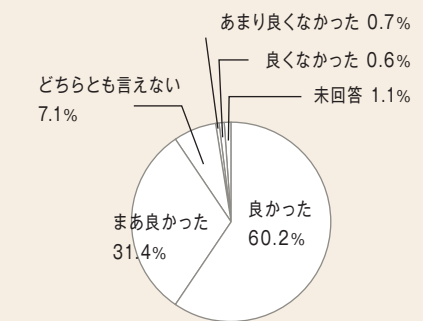
○モバイル・トリエンナーレをどのようにお知りになりましたか(複数回答可)

チラシ・ポスター	167人	30.9%
トリエンナーレのウェブ	83人	15.3%
新聞	137人	25.3%
市町の広報誌	89人	16.5%
知り合いから	76人	14.0%
会場に来て知った	50人	9.2%
その他	60人	11.1%
計	662人	122.4%



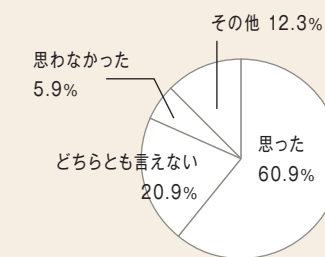
○展示の内容はいかがでしたか

良かった	322人	60.2%
まあ良かった	168人	31.4%
どちらとも言えない	38人	7.1%
あまり良くなかった	4人	0.7%
良くなかった	3人	0.6%
未回答	6人	1.1%
計	535人	100.0%



○本日の展示を見て、名古屋市や岡崎市で開催しているあいちトリエンナーレに行ってみたくは思いましたか

思った	318人	60.9%
どちらとも言えない	109人	20.9%
思わなかった	31人	5.9%
その他	64人	12.3%
計	522人	100.0%



写真撮影と提供：菊山義浩
編集：拜戸雅彦、近藤令子
デザイン：平井秀和
発行：あいちトリエンナーレ実行委員会
発行日：2017年3月
部数：500
